

受付番号	5	受付月日	8月16日
		午前・午後	4時07分

東郷町議会議長 加藤宏明 殿

東郷町議会議員 会派名 公明党

議席番号 1番 氏名 高木佳子

一般質問通告書

東郷町議会規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問（一問一答方式・一括質問方式）したいので通告します。

記

No. 3-1

質問事項	質問要旨	答弁者
1 男性トイレにサニタリーボックス設置を	<p>前立腺がんや、膀胱がんの患者さん等が尿漏れパッドを捨てる「サニタリーボックス」を男性トイレの個室に設置する動きが、全国の自治体、公共施設や商業施設で広がっている。なかでも埼玉県では、6月までに、225か所の県有施設の男性トイレ（多目的トイレ含む）への設置が100%達成した。県内各自治体でも公共施設への設置が進んでいると聞いている。</p> <p>国立がんセンターが2018年にまとめた統計によると、前立腺がんと診断された男性は、約9万2000人、膀胱がんは、約1万7500人に上る。</p> <p>これらのがんは手術後、頻尿や尿漏れが起きやすくなる。このため手術を受けた男性は、尿漏れパッドを着用することが多い。しかし、公共施設などの男性トイレの個室には、サニタリーボックスの設置が進んでおらず、パッドを捨てる場所がないため、外出先から自宅までビニール袋などに入れて持ち帰らざるを得ない人が数多くみえるとお聞きした。</p> <p>本町においても同様に悩まれている方がみえるのではないかと思い提案させて頂く。</p> <p>(1) 男性トイレへのサニタリーボックス設置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 全国でもこの取り組みが進められているが認識はされているか？ イ 今までにサニタリーボックス設置の要望、相談はなかったか？ ウ 本町の公共施設の男性トイレのサニタリーボックスの設置状況はどのようか。 エ 尿漏れパッドが捨てられるようなサニタリーボックスの男性トイレへの設置が 	町長 担当部長

（注）要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
2 春木排水機場の管理について	<p>必要であると思うが考え方を伺う。</p> <p>春木四ツ塚地域にある「春木排水機場」は、昭和54年4月に愛知県によって設置された。農業用水を境川に排出するポンプ設備であったと記憶している。同敷地内に建てられた管理棟は、昭和55年4月に建てられ、共に築40年を超えるものとなった。県より本町へ移管されたもので現在は、ポンプ設備は稼働しておらず排水機場の役割を持たない建物のみの管理であると認識している。令和元年9月議会において、東海豪雨の浸水被害と同じ事態が起きないようにとの観点から、排水機場の使用状況、また排水機場の役割がない当建物の今後の活用も確認させていただいたが、その時点では、都市型ポンプ場は多額な費用がかかるため新たに設置は難しいため排水機場としての活用の考えはないとの答弁をいただいた。その後3年が経過し、外觀からも老朽化は言うまでもなく、季節によって屋上は草が茂り排水口を塞ぎ、壁をつたって水が溢れ、職員の皆さんに屋上の除草作業をして頂いたこともある。管理棟周辺、大木、危険防止用の有刺鉄線も切れている等、荒れた状態といつても言い過ぎではないと思う。地域には若い世代の転入もあり、子ども達が入り事故に繋がらないかと気になっている。地域的に高齢化が進んでいる中、若い世代の方の転入は大変にありがたいことだと思っている。住みやすく安全に暮らしていただくためにも、現状のままにしておくのはいかがかと思い質問させて頂く。</p> <p>(1) 春木排水機場の存続について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 今後のこの施設の排水機場としての復旧の考え方を伺う。 イ 令和2年東郷町地域強靭化計画に、排水機場の防災対策の推進という項目があり、 <ul style="list-style-type: none"> ・排水不良による浸水の長期化を防ぐため、耐震化を推進する。 ・施設機能の効果を発揮させる必要があるため、「計画的な整備・維持管理を推進する。」と表記されている。 <p>この2点についてどのように考えているか。</p> <p>ウ 排水機場としての復旧はないとするならば、排水機場の建物を今後どのように</p>	町長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
	<p>していくか考えを伺う。</p> <p>エ 排水機場の本体を残す場合、現状のままか伺う。</p> <p>オ 管理棟、大木の除去は可能か。</p>	

(注) 要旨は、具体的に記載すること。